
事業報告書

ANNUAL REPORT

令和3年度 '21.4~'22.3

一般社団法人 中部産業連盟

事業報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

はじめに

令和3年度（2021年度）企業を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう行動制限、半導体不足に端を発した生産調整、ロシアのウクライナ侵攻に象徴されるように急激に劇的な変化をする中、テクノロジーの進展に対するI o Tを始めとしたデジタル化への取り組みが進み、また地球環境の負荷低減のための気候変動戦略は策定から実行段階に移行してきた。世界経済は新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、ワクチン接種により渡航制限は徐々に緩和されてきている。一方、第3四半期から原燃料価格の高騰、ロシアの経済制裁など、グローバルサプライチェーンについては、経済安全保障などの視点を持って、二重三重の対策を講じておく必要性が高まってきた。

国内では、生産年齢人口が20年後には22%減少し、73百万人から57百万人に減少すると推計され、長期的な展望に立つと人材確保と育成が重要な経営課題となっている。

中部産業連盟は、産業界の発展に貢献することを目的として、「大変革期を生き抜く」その舵取りと人づくりのためにコンサルティング事業ならびに各種人材育成事業について、会員企業711社を中心としたご支援、ご協力のもと、積極的に推進した。

令和3年度事業として、コンサルティング事業（547件、審査認定事業550件）は、国内人事・総合系では経営環境が予測しづらい不安定な時代であり、企業の経営計画策定、自律型人材育成プログラム、人事制度改革、業務効率化などに関するコンサルティングを実施。特に今年度はコロナ後を想定した経営ビジョンづくり、新事業および新製品のマーケティング計画立案とその実行支援、BCP（事業継続計画）の策定支援に対する案件が増加した。生産・ISO系では製造業に対し、品質向上、生産性向上、原価低減、リードタイム短縮及び在庫削減を目的とした生産システム改善、生産現場改善、IT、I o T活用による自動化、効率化、SDGs導入支援などのコンサルティングを実施。また、金融機関・投資ファンドと連携

した事業再生支援、ISOなどの認証支援、Pマーク認定審査事業、5S・VM（ビジュアルマネジメント＝見える経営）活動による経営革新、生産革新などを実施した。コンサルティングのスタイルも多様化し、現地現物現実のリアルとリモートを組み合わせたハイブリッドでサービスを提供。事業再生・企業経営強化力の分野、Global GAP（農業生産工程管理）認証審査、カーボンニュートラル推進事業を実施した。

また、セミナー事業（企業内）は、個別企業のニーズに対応した経営層から管理・監督者、担当者、新入社員までを対象に階層別、機能・分野別研修などを394件実施した。

一方、セミナー事業（公開）は、経営後継者育成塾、木曾駒塾、経営を担う次世代リーダー塾、管理能力向上プログラム、テーマ別研修、中小企業の人材確保支援事業、モノづくり企業を中心にTPSの思想の理解と実践力を養う階層別研修の実施、モノづくり女子応援プログラム、ものづくりITブリッジ人材育成プログラム、TPS研究会、中小企業診断士養成養成課程、公開セミナーは階層・対象別に基礎工学、営業、設計、生産・製造、品質、購買・調達の分野・機能・ビジネススキルなどのテーマ別を実施した。フォーラム・大会はモノづくり応援フォーラム、中部VE大会（価値向上フォーラム2021）、中産連マネジメント大会（本部、東京）、VMカイゼン事例発表大会、先進工場見学会、自動車産業フォーラム、人材育成フォーラムを実施した。ISO・VDA関連の研修はISO、IATF、VDA、JFMSに関する規格の解説セミナー、内部監査員養成研修を実施。計439コースを開催した。コンサルティング同様、研修についてもオンラインで知識を習得するとともに理解を深め、リアルで見識と胆識を磨くハイブリッド研修を実施した。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外洋上研修「創造の船」は中止、国際協力事業も実施できなかった。

環境パートナーシップCLUB（EPOC）など受託事務局事業（7件）を実施。また、会員サービス事業として会員懇話会をビデオ・オン・デマンドにて年9回開催、経営・法務相談室、機関誌「月刊プロGRESS」の発行などを通して新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的で関心の高いテーマについての情報発信・交流活動などに取り組んだ。尚、会員相互の交流の場である会員交流会は開催を中止した。

令和3年度 事業活動実績ならびに業務報告

目 次

I. 分野別事業活動

1. コンサルティング事業	1
2. セミナー事業（企業内）	8
3. セミナー事業（公開）	13
4. 国際協力事業	23
5. 受託事務局事業	24

II. 業務報告

1. 会 勢	30
2. 会 議	30
3. 庶 務	32
4. 協力活動	32
5. 役・職員の対外的協力活動	32
6. 会員支援	33

I. 分野別事業活動

中産連では、次の5事業を実施、各事業については事業部別に報告。

1. コンサルティング事業
2. セミナー事業（企業内）
3. セミナー事業（公開）
4. 国際協力事業
5. 受託事務局事業

1. コンサルティング事業（547件、審査事業550件）

(1) コンサルティング事業部

1) 国内人事・総合

経営環境が予測しづらい不安定な時代であり、企業の経営計画策定、人事制度改革、業務効率化などに関するコンサルティングを幅広く実施。特に今年度はコロナ後を想定した経営ビジョンづくりや組織風土改革などに関する案件が増加。

①経営計画策定

5年程度先を想定した経営ビジョンや中期経営計画を策定する支援を実施。独自開発の「VICTOR手法」を活用した支援プログラム。選抜した若手管理職を対象に育成をしながらアウトプットを出す形式が主体。

- ・ 中長期ビジョンの策定とロードマップづくり
- ・ 全社レベルの中長期経営計画の策定
- ・ 新事業開拓
- ・ 社員の行動規範策定

また、策定した中期経営計画の実践をフォローするためのプロジェクト推進やシステム導入の支援サービスも増加。

- ・ 予算管理システムの導入
- ・ 新規事業プロジェクトの推進
- ・ 管理者の行動改革（部下の提案実現）

②人事制度改革

人材育成や人事評価、目標管理の導入などのコンサルティングを実施。社員の定着や新規雇用の安定化を目指し、働き方改革を志向するものが多数。

- ・ 人事制度全般
- ・ 教育体系の構築と実践サポート
- ・ 世代交代に向けた職場単位の技能伝承推進
- ・ シニア社員の活躍推進

- ・組織活性化調査
- ・心理的安全性の高い、対話による組織改革

③管理・間接部門の業務効率化

間接業務の効率化に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うテレワーク環境の整備が追いついていない中小企業が多数。来るDX時代に向け、IT環境の整備も含めた業務改善を支援・提案。

- ・経営管理および業務の支援ソフト選定支援
- ・テレワーク推進に向けた支援（書類の電子化、電子データの整理と共有化等）
- ・リモート（Zoom等の活用）によるコンサルティングサービス及び研修の実施

④BCP（事業継続計画）の策定支援

厚生労働省「介護サービス類型に応じた業務継続計画（BCP）作成支援業務」

（令和3年3月15日～令和4年3月31日）を受託

- ・検討委員会の設置と開催に関わる事務局運営
- ・BCPガイドラインの作成（感染症と自然災害）
- ・研修プログラムと教材の作成、Webページによる募集
- ・研修の実施と研修結果のアンケートの実施
（オンライン研修を3回実施、計12,000事業所が参加）

- ・成果物として実施報告書の作成

また、上記に関連し、いくつかの自治体より介護事業所BCP作成のセミナーを実施。

⑤新事業および新製品のマーケティング計画立案と実行支援コンサルティングの実施

2) 生産・ISO

製造業に対し、生産性向上、原価低減、品質改善、在庫削減及びリードタイム短縮、生産管理等のITシステム構築、人材育成等に関するコンサルティングを実施。

①生産現場改善支援

中産連が開発した「目で見える基準書による現場改善」の手法をベースにしたものづくり改善活動を支援。

- ・改善推進計画と管理
- ・標準書類の整備
- ・標準作業の作成
- ・少人化の推進
- ・設備保全の仕組みの確立
- ・5Sの推進
- ・目で見える管理の推進
- ・品質のつくり込み
- ・流れの設計と管理
- ・工数低減活動の推進

②生産診断、生産改善・改革活動支援

- ・生産診断、工場簡易診断
- ・収益性向上のための工場現場改善
- ・コスト競争力改善のための生産革新
- ・設備導入に伴うレイアウト変更支援
- ・ICT、IoTの活用による自動化、効率化
- ・生産管理システムの構築
- ・原価管理システムの構築
- ・TPM活動の推進
- ・QCサークル活動推進支援
- ・5S活動の推進
- ・労働安全衛生の指導と管理システムの構築
- ・業種特性に合わせたBCPの構築支援

③金融機関、支援機関との連携によるコンサルティング

金融機関、支援機関と連携し、多業種の製造業に対して経営診断および生産診断を行い、企業のニーズに基づいたコンサルティングを実施。

- ・生産簡易診断→診断報告会→コンサルティングの実施

テーマは、経営計画の策定、収益改善に関わる売上向上とコストダウン推進（生産性向上、原価管理システムの構築、不良・歩留改善、省エネ化等の経費削減、業務効率化による省人化）、キャッシュフローの改善（在庫削減とリードタイム短縮）、人材育成。

また、岐阜県「次世代エネルギー関連産業参入支援事業」において、セミナー開催と個別訪社によるコンサルティングを実施。

④国際・国内マネジメントシステム規格の構築、認証取得支援

ISO9001、ISO14001、IATF16949、VDA6.3、ISO27001、ISO22000、ISO45001などの認証取得支援やレベルアップ、マネジメントシステムと経営管理システムとの統合をめざしたコンサルティングを実施。

⑤VDA関連

- ・FMEAベーシック研修（2日間）
- ・「市場故障分析－ユーザートレーニング」の日本語化
- ・「市場故障分析－監査員トレーニング」の日本語化
- ・改訂された「生産プロセス及び製品承認（PPA）トレーニング」の日本語化と研修
- ・改訂された「VDA6.5 製品監査トレーニング」の日本語化と研修
- ・アメリカ自動車工業会の「GMMOG研修」の日本語化
- ・「自動車業界におけるEOS－過電圧・過電流ストレス」研修の日本語化
- ・改訂された「VDA6.3プロセス監査員資格更新ワークショップ」の日本語化と研修
- ・改定された「コアツール研修」の日本語化と研修
- ・IATF16949審査員資格認定研修の再開のための準備（講師資格の復活等）

- ・下記のVDA規格の日本語翻訳支援
 - VDA「OTAアップデートを使用したりコールマネジメント」初版
 - VDA6.7「プロセス監査－生産手段－」改訂第3版
 - VDA「生産プロセス及び製品承認（PPA）」改訂第6版
 - VDA「特殊特性（SC）をカバーするプロセス記述書」改訂第2版
 - VDA6.5「製品監査」改訂第3版
 - VDA「排出ガス及び燃料消費の品質保証」（改訂第4版）
 - VDA「自動車業界におけるEOS－過電圧・過電流ストレス」（初版）
 - VDA4「プロセス概観における品質保証」（全面改訂及び拡張第3版）
 - VDA「自動車用サイバーセキュリティマネジメントシステム監査」（初版）
 - VDA「標準化された顧客苦情処理プロセス」（改訂第2版）

⑥HACCP関連

2018年6月の食品衛生法の改正によるHACCPの制度化により、食品製造業における食品安全マネジメントシステム構築のコンサルティングニーズが増加。これに対応するとともに、今後のニーズ増大に向け、内部体制を強化。また、JFS－E－A／B規格の監査機関として、タイに青果物を輸出する際に必要なタイ向けJFS規格も含めてHACCPシステム認証の監査を実施。

3) 事業再生・企業経営力強化

①金融機関、投資ファンド等と連携を行い、企業価値向上・経営力強化および具体的テーマのコンサルティングやモニタリングを実施。

- ・経営診断、事業診断、工場診断
- ・経営改善計画策定支援
- ・事業経営基盤強化支援
- ・収益性向上改善活動の支援
- ・事業デューデリジェンスの実施

②都道府県の中小企業再生支援協議会『経営改善支援センター』の認定支援機関として、経営改善計画の策定支援およびコンサルティングを実施。

③「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」、「省エネルギー投資促進に向けた補助金」、「事業再構築補助金」申請関連のコンサルティングを実施。

④M&A支援機関登録制度の認証を取得し、総合的なアドバイザーサービスを行なえる体制を整え、HPにて相談募集を実施。

4) Global GAP（農業生産工程管理）認証審査および実践研修

①Global GAP認証審査サテライト機関より委託を受け、農業生産法人などに対して同審査を実施。

②農業生産工程管理（GAP）実践研修

都道府県の普及指導員に対して、農業生産工程管理（GAP）実践研修を実施。

5) カーボンニュートラル推進事業への取り組み

①戦略診断

中小企業に対してカーボンニュートラル戦略診断を実施。

②「カーボンニュートラル戦略」研修

企業グループなどに対してカーボンニュートラル戦略研修を実施。

③省エネルギー最適化診断

省エネルギーセンターの委託により、省エネルギー最適化診断を実施。

④講演会

工業会に対して「カーボンニュートラルに関する欧州企業の動向」講演を実施。

6) SDGs 推進事業への取り組み

中堅企業に対してSDGs 階層別研修を実施。

7) Pマーク審査事業

プライバシーマーク指定審査機関（付与機関：J I P D E C）として、愛知県／岐阜県／三重県／石川県／富山県／静岡県／長野県を中心に、約550社に対してプライバシーマーク付与適格性審査（新規／更新／合併等）や説明会（新規／更新）等を実施。

コロナ禍の影響もある中で、リモート審査やWeb会議を導入して審査業務／説明会を実施。

付与機関と協議を行い、従来の5県に加えて静岡県／長野県の事業者からの申請受付／審査が可能となり、審査事業の範囲が拡大。

(2) マネジメント事業部

1) マネジメント開発部

企業の業績向上に結びつくTPSの理念・手法に基づいたコンサルティングを実施。トップマネジメント層への働きかけや、現場作業の前工程や他部門への働きかけを行い全社的な改善を支援。

- ・現場力改善
- ・管理間接部門における業務「質」改善と活性化
- ・自主研方式による現場改善指導
- ・全社的生産革新活動支援
- ・収益力向上の為の現場改善指導
- ・生産効率の最大化を狙った工場のレイアウトとものの流し方指導
- ・女性活躍推進の支援
- ・新人事制度の構築支援

2) マネジメント研修部

ものづくり企業の価値創造のために、生産現場改善をはじめ、生産技術／製造技術力向上、新商品開発力獲得、職場風土づくりなどに資するコンサルティングを実施。

- ・中期経営計画
- ・新商品開発プロジェクト
- ・全社生産革新活動
- ・現場改善力向上活動

- ・新規事業開発活動
- ・経営ビジョンから中期計画の策定とその展開活動による人材育成
- ・ビジョン共有による活性化活動
- ・人事制度再構築
- ・補助金申請サポート

3) ISO研修部

ISO、IATF、VDA、JFS規格などの認証取得を支援。規格の改訂情報はいち早く入手し常に最新版の情報にて対応。シンプルで各企業の実情に沿ったシステムの構築を実現。

- ・ISO9001
- ・IATF16949
- ・ISO22000
- ・VDA
- ・JFS-A/B（日本版食品安全規格）
- ・SDGs
- ・その他

(3) 東京事業部

直接クライアントにて指導するコンサルティングに加え、オンライン方式を取り入れながら、事業を展開。

1) 「経営」「人材」「職場」の3つの視点からのコンサルティング

- ・VM（Visual Management＝見える経営）による改革（経営革新、収益性改善等）
- ・VM-FMS（Visual Management-Flexible Manufacturing System＝見えるフレキシブル生産システム）確立による生産革新
- ・VM-FMS+IT・IoT・DXによる生産革新
- ・管理会計システム活用によるコストダウン活動
- ・5S活動の推進
- ・管理間接部門のOVMS（Office Visual Management System＝5S・ファイリング・VM）の推進
- ・人事制度の構築支援と組織の活性化
- ・賃金制度、役割主義人事制度の導入、コンピテンシー評価制度の導入
- ・組織風土改革
- ・ケースメソッド作成支援
- ・自律度診断及び自律型社員を育てる研修体系作成支援
- ・自律型職場づくりワークショップによる職場力開発支援
- ・中小企業の事業再生
- ・ISO（9001、14001、27001、22000等）認証取得、改訂対応、統合支援
- ・JFS規格の認定支援

2) 業務協力によるコンサルティング

- ①金融機関（政府系、民間）の総合研究所及びシンクタンクと業務協力し、民間企業に対するコンサルティングを受託し、共同で実施。
- ②公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対するコンサルティング活動、研修事業を実施し、地域の中小企業の人材育成と企業の発展に協力。

[研究開発事業活動]

1) 2021年度（公社）全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 黒田 啓介

表彰牌 佐藤 雅樹、宮川 真里

2) 職員の発表論文と受賞状況

日本経営診断学会 第54回 全国大会（令和3年10月）

- ・「中小企業活性化のためのSDGs診断の進め方」

中小企業診断協会会長賞受賞

主幹コンサルタント 山崎 康夫

日本品質管理学会 第51回 年次大会（令和3年11月）

- ・「中小企業へのSDGs普及のための実践プログラム」 主幹コンサルタント 山崎 康夫

3) 専門書、専門誌などの活動

- ・「SDGsで始まる新しい食のイノベーション」（幸書房） 山崎 康夫（令和3年11月）

- ・人材開発関連テーマのコラム執筆 中部経済新聞

原 裕二（令和3年5月、8月、11月、令和4年2月）

- ・「工場管理」日刊工業新聞社 令和3年6月号

「“令和版”目で見える管理～生産現場のマネジメント力アップデート！～」

小坂 信之、佐藤 直樹、丸田 大祐、伊東 辰浩、小島 康幸、小坂 智徳

- ・農林水産省

「食品産業の安全な職場づくり ハンドブック」

小島 康幸（令和4年3月）

- ・「商工ジャーナル」商工中金経済研究所

「中小企業におけるカーボンニュートラルの取り組み」

梶川 達也（令和3年7月）

「DX実現に向けた次世代リーダーの育成」

清水 弘之（令和3年9月）

「自動機械職場における生産性20%向上プロジェクト」

山口 郁睦（令和3年10月）

「お悩み解決コンサルティング活用術 テレワークのトラブル防止に役立つ10項目」

柘植 吉則（令和3年11月）

「製造管理者の育成と技能伝承」

高橋 拓也（令和4年1月）

- ・「環境マネジメントモデル規定・文例集」（共著）新日本法規出版 梶川 達也（令和3年4月）

- ・「環境規制・基準チェックの手引き」（共著）新日本法規出版

梶川 達也、岩崎 雅之（令和3年5月、11月）

4) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動を通じたマネジメント手法やポイントを紹介。

①第34回マネジメント大会

開催日：令和3年11月16日 オンライン開催

大会テーマ：「今、企業に求められるレジリエンス」

参加人数：348名

・講演

「レジリエンスの経営とリーダーシップ」 【録画配信】

ロンドン・ビジネススクール教授 リンダ・グラットン氏

・第1部会：未来に向けての挑戦

「新事業戦略の実行に必要な組織課題への対応」 主任コンサルタント 橋本 豊

「カーボン・ニュートラル（CN）経営戦略」 主席コンサルタント 梶川 達也

「イノベーションを導く多様性と心理的安全性」 主任コンサルタント 清水 弘之

・第2部会：既存のノウハウを深耕

「生産診断を活用した改善活動の活性化」 上席主任コンサルタント 山口 郁睦

「本当に役立つ事業継続計画（BCP）づくり」 主任コンサルタント 前田 和彦

「IATF 16949の紹介／VDA規格に関する最新情報」

上席主任コンサルタント 畑澤 馨

5) 第28回東京マネジメント大会

開催日：令和3年7月15日 オンライン開催

大会テーマ：「令和版VM＝目で見える管理」への進化／VM×IT、VM×IATF 16949

参加人数：83名

発表1 「令和版VM＝目で見える管理～進化と推進のポイント」

主席コンサルタント 佐藤 直樹

発表2 「ITを活用して日々の問題を即時解決する生産現場のVM」

主任コンサルタント 伊東 辰浩

発表3 「VM×ITの診断と推進事例紹介」

上席主任コンサルタント 丸田 大祐

発表4 「IATF 16949の概要とVMの活用」

主幹コンサルタント 山崎 康夫

2. セミナー事業（企業内）（394件）

(1) コンサルティング事業部

1) 総合

①階層別

新入社員から中堅社員、管理・監督者向け研修まで、階層ごとの基礎スキル研修を企業および官公庁で実施。特定階層のみ、または複数階層をまとめ体系的に階層間のつながりをもった研修を実施。

新型コロナウイルス感染対策で、Web研修に置き換えを希望されることが格段に増加。研修効果と安全性の両面からWeb・リアル研修を組み合わせたハイブリッド型研修を多数実施。

内容面では、変化に柔軟に対応し、自社を牽引できる新たなタイプの管理者を育成する研修ニー

ズが増加し、選抜型「次世代リーダー研修」（半年間）などを実施。

シニア社員の増加やその活性化ニーズを受け、定年または役職定年後の働き方を本人が再設計する「シニア向けセカンドキャリア研修」を実施。この分野は社会的課題でもあり、今後ますます活発化すると考えられる。

②人事関連の実務研修

評価者研修や目標管理の導入研修などの定番研修のほか、人材確保・育成ニーズの高まりを受け、キャリア計画策定やOJT指導、コーチングをテーマにした研修が増加。

- ・人事評価研修
- ・面談、コーチング研修
- ・キャリア計画指導研修（管理者）
- ・キャリア計画策定研修（本人）
- ・目標管理指導者研修（上司）
- ・目標管理研修（本人）
- ・OJT研修、OJTリーダー研修
- ・社内講師養成研修、新入社員育成担当研修

③各種ビジネススキル

中長期経営計画策定、中期ビジョンづくり、マーケティング、新事業開拓、および業務効率化などに関する実務研修を多数、企業内で実施。

新たな流れとしてテレワークやペーパーレスに適応できない状況を回避するため、IT活用のリテラシー研修も増加。

2) 生産・ISO

①生産

ものづくりの基礎となる5S・目で見える管理研修、生産性向上研修などを企業内や各地支援センターなどで実施。また、生産現場の次世代リーダーを育成する目的で、生産の基礎から職場運営に重要な仕事の教え方やコミュニケーションの取り方までをアクションラーニングで学ぶ1年間の研修を実施。

- ・生産系の管理監督者研修
- ・原価管理研修、コストダウン研修
- ・TWI仕事の教え方
- ・労働安全衛生の基本知識、KYTの実践
- ・問題解決の進め方
- ・QC等の品質管理基礎研修
- ・小集団活動の進め方
- ・自工程完結、人為ミス未然防止
- ・生産現場改善のためのIE手法
- ・ものと情報の流れ図の作成と改善
- ・標準作業による作業改善

- ・生産シミュレーション（工作物による演習、提携先のソフト活用）
- ・プロジェクトマネジメント
- ・設計管理技法（FMEA、FTA、QFDなど）

② I S O

I S O 9001、I A T F 16949、V D A 6.3、I S O 14001、I S O 45001などの規格の解説や内部監査員養成研修を多数実施。

(2) マネジメント事業部

1) マネジメント開発部

管理監督能力の向上、製造業におけるQCD向上のための基礎研修、及びTPSコンサルティング導入教育・補完教育を目的として実施。オンラインによる企業内研修を提供。中小企業を対象にした生産性向上訓練のカリキュラムを多数実施。

①階層別

- ・実践フォアマン研修（企業内版）
- ・問題課題解決型 係長研修
- ・階層別生産人材教育
- ・管理者のための問題解決力向上
- ・部長向け、課長向けマネジメント研修
- ・次世代リーダー研修

②テーマ別

- ・標準作業と改善研修（企業内版）
- ・ジャスト・イン・タイム実践研修
- ・生産性分析と向上
- ・ものづくりの仕事の仕組みと生産性向上
- ・成果を上げる業務改善
- ・事故を無くす安全衛生活動
- ・企業価値を上げるための財務管理
- ・係長のための面談スキル向上
- ・生産現場の問題解決
- ・職場のリーダーに求められる統率力の向上
- ・生産計画と工程管理
- ・品質管理基本、実践
- ・ビジネス現場における交渉力
- ・IT新技術による業務改善
- ・女性社員のキャリア開発
- ・原価管理とコストダウン
- ・業務効率向上のための時間管理
- ・ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善

- ・ナレッジマネジメント
- ・職場運営とリーダーシップ

2) マネジメント研修部

①階層別研修

経営者から新入社員まで様々な階層を対象とした階層別教育を実施。

- ・経営幹部候補生育成研修
- ・新任管理者研修
- ・職長教育研修
- ・生産部門の選抜部課長を対象とした中核人材研修
- ・中堅リーダー研修
- ・3年目社員研修
- ・新入社員研修
- ・新入社員フォローアップ研修

②テーマ別研修

企業の様々な課題や要望に合わせたテーマ別研修を実施。

- ・コミュニケーション
- ・リーダーシップ
- ・アンガーマネジメント
- ・V E 研修（基礎、実践）
- ・I E 基礎
- ・面談スキル講習
- ・商品企画開発
- ・営業マナー
- ・品質管理基礎
- ・プロジェクトマネジメント
- ・財務諸表の読み方
- ・設計マネジメントの実務と要点
- ・なぜなぜ& F T A & F M E A
- ・C A E 解析
- ・営業スキルアップ
- ・折衝力交渉力
- ・与信債権管理
- ・海外赴任者
- ・1 on 1ミーティング基礎
- ・ファシリテーション
- ・ほめ方叱り方
- ・面談スキル講習

- ・ビジネスマナー
 - ・採用面接のポイント
 - ・T W I
- 3) I S O 研修部
- 各社のニーズに応じてカリキュラムを作成し実施。
- 各種規格の解説、内部監査員養成の基本研修を実施状況や要望に沿って実施。またW e b 研修にも対応。
- ・ I S O 9001
 - ・ I S O 14001
 - ・ V D A
 - ・ I A T F 16949
 - ・ I S O 45001
 - ・ H A C C P 診断
 - ・ J F S - A / B (日本版食品安全) 監査 (新規 / 定期)
 - ・ P マーク審査協力
 - ・ S D G s
 - ・ ビジネススキル
- (3) 東京事業部
- ・ C A P (中産連アセスメントプログラム) による経営者・管理者・監督者・リーダーの階層別企業内教育
 - ・ アクションラーニング
 - ・ 人事考課者訓練
 - ・ 昇格者研修
 - ・ 幹部候補社員研修コース
 - ・ ケースメソッド
 - ・ 自律的な職場づくり人づくりのための研修
(新入社員研修、若手・中堅社員研修、職場リーダー育成研修、自律を高める部下・後輩指導力強化研修、チームマネジメント研修、管理職研修)
 - ・ 5S、ファイリング
 - ・ V M (見える経営、目で見える管理、見える目標管理等)
 - ・ 在庫削減
 - ・ 品質管理
 - ・ 食品衛生管理
 - ・ S D G s
 - ・ I S O 9001、14001内部監査員養成

3. セミナー事業（公開）（439件）

(1) コンサルティング事業部

1) 第13期 経営後継者育成塾（参加者7名）

同族企業後継者で既に実務に就いている若手経営者・幹部を対象に、経営のあり方や事業戦略、事業継承などに関する座学・企業訪問を実施。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、期間中にスケジュール変更があったものの、3月に成果報告会を実施。

2) 第12期 木曾駒塾（参加者25名）

中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の想いにより、未来の中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成することを目的に、中部大手企業の参加で実施。成果を冊子にまとめた。

【日程・講師】

第1会合 令和3年8月25日(水) <フルリモート開催> 中産連ビル（講師のみ）

発起人講演 中部電力(株) 顧問 川口 文夫氏

第1講 トヨタ自動車(株) 元副社長 佐々木 眞一氏

第2講 東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)

代表取締役会長 石田 建昭氏

第2会合 令和3年10月21日(木)～22日(金) フォレスタヒルズ

第3講 ブラザー工業(株) 名誉相談役 安井 義博氏

第4講 大同特殊鋼(株) 代表取締役会長 嶋尾 正氏

第5講 J.フロント リテイリング(株) 特別顧問 岡田 邦彦氏

第6講 (一社)中部産業連盟 会長 伊奈 功一

第3会合 令和3年12月16日(木) ウィンクあいち

第7講 (株)メニコン 代表執行役社長 田中 英成氏

第4会合 令和4年1月26日(水) 中産連ビル（講師のみ）

第8講 東海旅客鉄道(株) 顧問 須田 寛氏

第9講 中部電力(株) 代表取締役会長 勝野 哲氏

【コーディネーター】

明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 野田 稔教授

3) 第6期 経営を担う次世代リーダー塾（7社8名）

(株)デンソー元専務取締役、アスモ(株)元取締役社長を歴任された花井嶺郎氏を講師に迎え、氏のこれまで培ってきた実務及びマネジメント経験をもとに、参加者の直面する課題解決へのヒントを探り、自社成長に繋げていくことを目的として実施。

中堅企業の次世代の経営幹部候補者を対象に、令和4年8月より全6回実施。

4) 第13期 管理能力向上プログラム（9社14名）

年間を通じて、「人」あるいは「組織」を対象として自部門さらには他部門を巻き込んだ部門間連携により問題や課題を解決していく「管理」を学び、実践。中間・上級管理者が参加し、上期は自部門の組織運営の問題について解決を実践。下期は部門間の課題に取り組んだ。

- 【講師】 委嘱コンサルタント 太田 昭男氏
委嘱コンサルタント 熊谷 忠信氏
委嘱コンサルタント 和田 清高氏

5) 人材サービス

①中部経済産業局受託事業

令和3年度「中部経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」（経験値活用型サポート人材確保事業）

ものづくり産業が多く集積する中部経済産業局の所管する地域において、中核的人材の確保を通じて中小企業等を支援。

中小企業等が、今後も地域を支え、成長・発展するには付加価値の拡大や労働生産性の向上が不可欠。また、多様な分野での実務経験を活かして、個々の企業が抱える課題の解決ができる人材を発掘し、マッチングの機会を幅広く創出することで支援。

- ・魅力発信セミナー（Microsoft Teamsを使用）
- ・支援機関向け説明会の開催
- ・経験値活用型サポート人材マッチング交流会

②令和3年度中小企業・小規模事業者人材対策事業補助金（サプライヤー応援隊事業）

日本の雇用・経済を支える自動車産業の底上げを図ることが目的。

事業は、サプライヤー応援隊候補の人材を育成するステージと、実際に中小企業に派遣指導するステージの2段階構成。

- ・指導者育成事業

サプライヤー応援隊指導者育成研修

③現場派遣事業

技術的な課題等を解決したい中小自動車部品サプライヤーと知識経験が豊富な人材（サプライヤー応援隊人材）とのマッチングサービス。

- ・BEVにおける部品戦略支援
- ・自動車整備工場におけるBEV中長期戦略支援
- ・タイ工場における生産立上げと生産支援

④人材紹介セミナー

経験値活用型人材の持つ企業での支援活動実例をもとに、経験値を活かした知識導入から実践までを紹介。

- ・営業活動の見える化の実施方法
- ・製品不良、顧客クレームを削減させる取組方法

(2) マネジメント事業部

1) マネジメント開発部

モノづくり企業を中心に、TPSの思想の理解と実践力を養う階層別の研修を実施。

第85回春のトヨタ生産方式研究会は新型コロナウイルス感染状況を鑑み実施を見送ったが、トヨタ生産方式を実践している企業のトップマネジメント層に向けて「トップの関わり方」を改めて意

識喚起・啓蒙するフォーラムを開催。秋の開催は、PART1のみ工場見学を省き2日間で開催。

さらに、企業への新たな課題提起として「オペレーションズ・マネジメント」に取り組む必要性をフォーラムで発信。続けて実践各論編を実施。

また、「ものづくりITブリッジ人材育成プログラム」を、現場の問題・課題を見極め、ITツールの活用、デジタル化を目的志向で実施できる人材を育成する目的で、研究開発を行い、実施。

①マネージャー層

- ・「トヨタ方式に学ぶ！」ものづくり管理者養成講座
- ・生産技術マン養成講座
- ・原価マン養成講座 入門編

②監督者層

- ・実践！「TPSに基づくフォアマン研修」
- ・「標準産業と改善」実践シミュレーション
- ・問題発見、問題解決の進め方

③モノづくり女子応援プログラム

- ・はじめて学ぶ機械図面の見方研修

④メンタルヘルスセミナー

- ・心の健康に役立つストレスコントロール
- ・最前線のラインケア

⑤フォーラム

- ・製造業DX「はじめの一步」フォーラム（参加者89名）
- ・オペレーションズ・マネジメントフォーラム（参加者76名）
- ・TPSトップマネジメントフォーラム（参加者92名）

⑥オペレーションズ・マネジメント実践各論編セミナー

- ・原価企画編
- ・製品企画編

⑦ものづくりITブリッジ人材育成プログラム 全7回

講座内容

- ・ITものづくり人材像の理解と生産工程の把握
- ・模擬ラインを使ったカイゼン演習 データ活用の実際
- ・IT技術をフル活用する着眼
- ・IT、IoT機器の実際 現座最前線の見学
- ・シミュレーターによる生産最適化 情報セキュリティ 費用対効果の検討
- ・実践計画の立案
- ・実践報告会

⑧第86期トヨタ生産方式研究会（参加者135名）

- ・特別講演「トヨタ生産方式の本質」

講演者 トヨタ自動車(株) TPS本部 本部長 尾上 恭吾氏

・PART I 「改善の進め方」講座

講師：トヨタ自動車㈱ T P S本部 本部長 尾上 恭吾氏

生産調査部部长 松本 光一氏 ほか6名

2) マネジメント研修部

①中小企業診断士登録養成課程

中小企業に経営診断及び経営のアドバイスを実施する中小企業診断士を養成するために、平成19年（2007年）より中小企業診断士登録養成課程を開講。

第13期（2020年3月）からは定員を24名から32名に増やし1年間のカリキュラムを実施。講座開講以来、第14期までで通算250名超の修了生を輩出。

②公開セミナー（366回、参加者2,725人）

[階層別]

取締役研修、部長研修、課長研修、係長研修、主任研修、新任班長研修

[階層別（製造部門）]

製造幹部研修、製造管理者研修、製造監督者研修、製造現場中堅社員研修、新任班長研修、T W I 監督者訓練、現場リーダー実践研修

[新入社員]

新入社員基礎実務研修（共通・部門編）、新入社員フォローアップ研修、新入社員オンライン研修

[工学基礎]

製図技能教室、機械設計製図教室、図面の見方・読み方研修、電気回路図面、幾何公差設計、板金樹脂切削、金属疲労の基礎、材料構造力学、樹脂材料、金属材料、ゴム材料、樹脂成型、鉄鋼材料

[設計スキル]

D R B F M手法、製品コンセプト、工程F M E A

[生産・製造]

トヨタ物流方式、新任監督者部下の扱い方、生産管理の基本、なぜなぜ分析、問題解決S T E P、5 S +目で見える管理、現場改善、物流改善

[品質]

ヒューマンエラーとボカミス、品質造り込み強化、Q C的な仕事の進め方、Q Aネットワーク、Q C7つ道具、工程内品質保証、品質管理の考え方

[原価・V E]

原価のしくみ、V E L 養成

[購買・調達]

購買外注担当の基本、見積データの上手な活用法、調達コストダウンと値下げ、下請法、購買部長・課長

[営業]

セールストーク、営業マネージャー、営業アシスタント、価格競争・営業力向上、受注を勝ち

取る価格設定と原価見積、与信管理、上手なコストダウン、営業折衝力・交渉力、与信管理、クロージング営業

[コミュニケーションスキルアップ]

コミュニケーションマナー、業務改善力、若手報連相、管理者報連相、働きやすい職場5つの取り組み、チーム力アップコーチング、アンガーマネジメント、ほめ方・叱り方

[ビジネススキルアップ]

秘書研修、「考える力」育成、P D C Aサイクル、P C時短活用術、接遇実務、仕事の教え方、意思決定力、行動力向上、ファシリテーション、管理者の課題設定、問題発見と解決力、スケジュール管理

[I Tスキル]

I Tリテラシー研修、I o T×作業改善実践研修、R P A×業務改善

[財務・総務・貿易]

貿易基礎実務、簿記、決算書の見方、契約書の基礎、年末調整、人事制度の運用と改革

[雇用調整助成金等相談会]

雇用維持と継続的な教育訓練による人材育成を目的に、助成金（教育訓練助成金、時間外労働等改善助成金等）に関する相談会を実施。

③フォーラム、大会

- ・第23回モノづくり応援フォーラム（参加者：37名）

モノづくりに関わる方々の活力を生み出すことを目的に開催。本年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みてオンライン配信形式（ビデオ・オン・デマンド）にて開催。トヨタ自動車(株)、(株)加藤製作所、富士電機(株)、ユーアイ精機(株)等の先進企業が幅広いテーマで講演。また、オンラインならではの取り組みとして各社事例を「オンライン工場見学」も含めて紹介。

- ・第53回中部V E大会（価値向上フォーラム2021）（参加者：63名）

(株)スノーピークビジネスソリューションズ、(一社)リーマンサットスペースズ、東京ガス(株)等、価値向上に取り組んでいる幅広い企業がイノベーションの種やコストダウンのヒントを指導。新型コロナウイルス感染予防のためオンラインにて開催。

- ・愛知県×中産連 自動車産業フォーラム2022 最新技術講座（参加者：2日間 延べ134名）

自動車産業の今後の方向性、注力すべき技術開発・ビジネス分野について、日本を代表する自動車メーカー・部品メーカー各社の第一線技術者が解説。愛知県との共催。オンラインにて開催。

講演企業：トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、三菱自動車工業(株)、本田技研工業(株)、日産自動車(株)、マツダ(株)、(株)S U B A R U、大同特殊鋼(株)、(株)島津製作所等

- ・2022年度 中産連 人材育成フォーラム（参加者：418名）

次年度の「人材育成のあり方」に関する講演・企業事例と中産連の研修事業計画の紹介。

配信期間：令和3年12月6日(月) 10時00分～12月20日(月) 10時00分

開催方法：オンライン配信

内 容：【基調講演】

「世界の経営学からみた、人材育成への視座」

早稲田大学大学院経営管理研究科

早稲田大学ビジネススクール教授 入山 章栄氏

【企業事例①】

「PLAY WORKが未来を変える、社員の力を引き出す組織開発」

コクヨ(株) ファニチャー事業本部 スペースソリューション本部

ワークスタイルイノベーション部 部長 鈴木 賢一氏

【企業事例②】

「会社も職場も個人も変わる意識・行動変革への挑戦」

トヨタ車体(株) 人事部人材開発室室長 稲垣 隆氏

④研究会

- ・中部VE研究会（通年／VE大会、専門部会を開催）

企業価値の向上を目指す中小企業に親しみやすく、活用しやすいVEの普及を目的に幹事会の運営、専門部会の開催、大会（価値向上フォーラム）を開催。

- ・第41期ヤング・エグゼクティブ・フォーラム

数字を体系的に理解できる経営者・経営幹部を育成するとともに、異業種交流の機会を提供し、専門家による新しい認識の発見、メンバー相互の業種・職種紹介を通じて、格好の人脈形成の場となるフォーラムとして実施。年間12回のプログラム。

⑤受託事業

静岡県 新成長産業戦略的育成事業

- ・次世代自動車 最新動向セミナー
- ・次世代自動車 中小自動車部品製造業のためのDX基礎セミナー
- ・次世代自動車 要素技術 生産技術研究講座
- ・ロボット産業参入促進セミナー

愛知県 モノづくり技能継承支援事業

- ・技能継承支援セミナー

3) ISO研修部

日本で唯一VDA-QMC（ドイツ自動車工業会品質管理センター）から認定を受けたVDA規格のフォーマルトレーニングコース実施機関として常にVDA-QMCと連携し幅広くセミナーを実施。HACCP関連では食品安全研修をJFSM（食品安全マネジメント協会）から認定を受け公式コースとして実施。

各種規格の解説研修や内部監査員研修やVDA研修などオンラインでも開催。

①ISO9001関連

- ・規格解説
- ・内部監査員研修【開催地：名古屋、浜松、静岡】
- ・IATF16949規格解説／内部監査員コース

- ・ V D A - Q M C 各種公式コース
 - (6.3監査員 新規・更新／コアツール／F M E A 基礎／6.5/2／M L A / 19.1/19.2／P S C R 新規・アップグレード／I A T F 16949 1st 2nd 新規・更新 他)
- ・ V D A 6.3規格概説セミナー
- ② I S O 14001 関連
 - ・ 規格解説
 - ・ 内部監査員研修【開催地：名古屋、浜松】
- ③ I S O 45001 (労働安全衛生マネジメントシステム)
 - ・ 規格解説／内部監査員研修
- ④ I S O 27001 (情報セキュリティマネジメントシステム)
 - ・ 規格解説／内部監査員研修
- ⑤ J F S - A / B ・ I S O 22000 (食品安全マネジメントシステム)
 - ・ 規格の解説／内部監査員研修
 - ・ 食品安全研修 (食品安全マネジメント協会認定)
 - ・ J F S - A / B 規格監査員養成研修 (食品安全マネジメント協会認定)
- ⑥ ビジネススキル
 - ・ 段取り上手の仕事術
 - ・ ロジカルシンキング
 - ・ マネジメント能力向上研修
 - ・ メモの技術
 - ・ 人間関係力研修
- ⑦ 営業
 - ・ 法人営業の基礎実務研修
 - ・ 戦略営業研修
 - ・ 営業組織力向上研修
 - ・ 情報収集力と提案力研修
- ⑧ 書籍販売事業

V D A 規格の邦訳版に関し独占販売権を有している。

 - ・ V D A 1
 - ・ V D A 2
 - ・ V D A 3.1
 - ・ V D A 3.2
 - ・ V D A 3.3
 - ・ A I A G & V D A F M E A
 - ・ V D A 4 (1-4)
 - ・ V D A 5
 - ・ V D A 5.1

- ・ V D A 5. 2
- ・ V D A 6
- ・ V D A 6 (英)
- ・ V D A 6. 1
- ・ V D A 6. 1 (英)
- ・ V D A 6. 2
- ・ V D A 6. 3 : 2016
- ・ V D A 6. 3 : 2016 (英)
- ・ V D A 6. 4
- ・ V D A 6. 5
- ・ V D A 6. 7
- ・ V D A 7
- ・ V D A 9
- ・ V D A 16
- ・ V D A 19. 1
- ・ V D A 19. 2
- ・ 製品の完全性
- ・ O T A
- ・ 学んだ教訓
- ・ 8D
- ・ A - S P I C E
- ・ A - S P I C E (英)
- ・ 市場故障分析
- ・ 民生用電子機器部品使用時のリスク分析のガイドライン
- ・ 新規部品の成熟度保証
- ・ 頑健な生産プロセス
- ・ V D A S C
- ・ V D A 構成部品要求仕様書の標準構造
- ・ 顧客苦情取扱のための標準化プロセス
- ・ 顧客固有要求事項
- ・ E O S
- ・ 自動車用サイバーセキュリティマネジメント
- ・ アジャイルコラボレーション
- ・ サイバーセキュリティのための A - S P I C E

公 開 研 修	延参加人数(名)
I S O 9001	319
I A T F 16949 (含 研究会)	216
VDA関連コース (審査員、監査員、6.3、6.5、2)	843
I S O 9001～VDA (計)	1,378
I S O 14001	324
I S O 45001	20
I S O 27001	23
J F M S ・ I S O 22000 (H A C C P)	27
B C P	15
リモート監査	6
I S O 14001～22000 (計)	415
ビジネススキル	702
営業	48
総 合 計	2,543

(3) 東京事業部

1) 講演会・大会

講演会・大会	テーマ (内容)	開催日	開催場所	講師名 (発表企業名)	参加者数
VMカイゼン事例 発表大会 (第13回)	カイゼンが継続・浸透し、職場の財産になる！ 5Sから始める「見えるマネジメント活動」	令和4年 3月4日	Web (オンライン)	【講演】 中産連 佐藤直樹 【事例発表】 大橋機産(株) 黒金化成(株)	118

2) 会場公開研修

①生産・ISO関連

- ・管理会計を活用した全社収益向上 ー見える収益連鎖体系の構築ー
- ・人が変わる！職場が変わる！5S活動で工場体質改善

3) 会場+Web公開研修

①生産・ISO関連

- ・生産、事務現場/まるごと5S展開
- ・人が変わる組織が変わる5Sレベルアップ
- ・工場体質改善のための5Sレベルアップ
- ・業務効率化のための事務所の5S、ファイリング推進

- ・生産現場改善+マネジメント改革による～まるごと工場コストダウンの進め方
- ・工場全部門による生産性向上
- ・I S O 9001内部品質監査員養成1日コース
- ・I S O 14001内部環境監査員養成1日コース
- ・設計・開発部門の“見える化”改革
- ・多品種見込生産タイプ工場における生産性向上・体質強化（中小企業向け）
- ・安全意識が高まる！安全対策が進む！安全衛生活動活性化
- ・業績向上につなげる目標管理、K P I 管理
- ・不良が止まらない工場のための不良撲滅
- ・コスト&納期半減をねらえ！在庫削減、リードタイム短縮のポイント
- ・管理監督者による5S、見える化工場の実現方法

4) W e b 公開研修

①生産・I S O 関連

- ・I T、I o T化準備 診断紹介
- ・効果的な生産管理業務のI T、D X推進
- ・業績に直結する目標管理、K P I 管理
- ・業務効率化のための事務所の5S、ファイリング推進
- ・生産管理改善／実践手法習得
- ・J F S - B規格：構築運用のための事例紹介
- ・実践！すぐに使える品質管理手法～品質マネジメント力向上
- ・I S O 14001内部環境監査員養成1日コース
- ・電子データファイリングシステム（e F S）確立
- ・作業標準整備、管理、活用の実践手法の理解
- ・製造リードタイム短縮、在庫削減～体系だった、実践的な方法を具体的に伝授～
- ・管理会計を活用した全社収益向上 -見える収益連鎖体系の構築-
- ・S D G s で始まる新しい食のイノベーションセミナー
- ・オンラインV M工場見学会（動画事例紹介+解説）& V Mセミナー
- ・事業再構築補助金の活用に向けた新事業展開の目利きポイント
- ・事務部門必見！本格的な業務効率化紹介～事務現場の改革手法= O V M S を紹介！～
- ・S D G s を活用したイノベーション紹介
- ・生産管理システム導入、リプレイスの極意
- ・管理間接部門の生産性向上
- ・組織で挑む！5S活動活性化のための個別相談会
- ・見込生産企業のあるべき姿
- ・食品安全+食品防衛 異物混入防止対策
- ・5Sの進め方講座
- ・ものづくり原価講座

- ・ I E 手法の基礎講座

②人材マネジメント関連

- ・ 自律型人材育成の3つのポイント
- ・ マネジメント行動改革浸透プログラム
- ・ 研修を通してマネジメント行動変革を起こす！ ～体験学習と実際の問題解決による変革アプローチ～
- ・ 役割主義人事制度構築の着眼点 ～人事制度再構築のポイントをコンパクトに解説～
- ・ オンライン研修による体験学習の進め方
- ・ 人事評価制度を人材育成に活かすポイント～制度運用を確実にマネジメント強化へ繋げる～
- ・ 自律、行動変革…階層研修について
- ・ 自律型の若手社員を育てる3つのポイント

5) 工場見学会

VMに対する理解を深め、VMを普及していくために、VM先進企業の工場・オフィス見学会を開催。

- ・ ㈱丸協
- ・ 扶桑工業㈱

6) 研究開発事業

東京事業部所属コンサルタント（経営革新、人材）、営業企画担当、スタッフが、年度のテーマを決めて、コンサルティング手法の研究、将来的に発展する商品の開発、技術的な優位のある商品の開発等を行い、成果を報告。

7) VM賞授与

VM賞認定制度に基づく審査基準に沿って、VM活動を実践して成果を上げた企業を審査し、VM賞を授与。本年度は、VM推進賞を㈱三栄製作所、黒金化成㈱の2社に授与。

VM推進賞、VM部門賞、VM本賞、VMプレミアム本賞など、1997年より授与した賞はトータルで40。

4. 国際協力事業（0件）

コンサルティング事業部 第3部

グローバル事業には、海外からの研修員を受け入れて教育研修を行う「受入事業」と専門家を海外に派遣する「海外派遣事業」の2種類。受入事業は研修を中心に、海外派遣は現地（工場や地域）指導などのコンサルティングおよび研修の複合形態。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大をうけて、受入事業および海外派遣事業は実施できなかった。

5. 受託事務局事業（7件）

(1) コンサルティング事業部

あいちゼロカーボン推進協議会事務局

本協議会は、産業界・行政・学界が協力して、愛知県のゼロカーボン社会のビジョンやそのための活動計画を提言し、実現に向けて活動するために令和3年4月に設立。

(2) マネジメント事業部 マネジメント開発部

日本経営管理標準（JMS）推進機構

JMS推進機構事務局の運営、および第2期ワーキング活動の企画、発信を行い、活動を開始。

中小企業版JMSともいうべき「新JMSフレームワーク」に基づいた経営者向け診断と経営革新推進ツールの利用を促進。受診社数102件。

- ・理事会（書面決議）
- ・企画委員会 2回開催（オンラインでの参加有）
- ・JMSワーキング活動第2期 3回開催（全7回を予定）

第1回 キックオフ、メンバー各社の経営理念・ビジョンについて共有

第2回 業界理解と各社の強みについての研究

第3回 実践期についての課題設定（オンライン）

(3) 社会貢献部

1) 環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、企業が培ってきた環境の技術・わざとパートナーシップを活かし、循環型経済社会の構築を目指し多種多様な活動に取り組んでいる（平成12年2月17日設立）。

〈主な活動〉

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

環境パートナーシップ・CLUBでは、各分科会が視察、セミナー、勉強会、総合学習支援等を企画・運営している。中産連は総合事務局としてこれらをサポートするとともに、会計事務機能として活動を支援。

①2021年度総会

と き：令和3年7月8日(木)

ところ：名古屋東急ホテル3階「錦の間」（リモート開催）

議 案：2020年度事業報告及び収支決算、2021年度活動計画、役員改選他

参加者：184会員

その他：同日開催した基調講演会は、後日オンライン配信を実施

②理事会

第44回理事会

と き：令和3年6月18日(金)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室

議 案：2020年度事業報告及び収支決算、2021年度活動計画、役員改選他

参加者：30名（書面審議）

第45回理事会

と き：令和4年2月10日(木)

ところ：ホテルメルパルク名古屋（リモート開催）

議 案：2021年度事業報告、収支決算報告の承認の件他

参加者：26名

③幹事会

第50回幹事会

と き：令和3年5月24日(月)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室（リモート開催）

内 容：第44回理事会提出議案の審議

参加者：27名

第51回幹事会

と き：令和4年1月20日(木)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室（リモート開催）

内 容：第45回理事会提出議案の審議

参加者：27名

④E P O Cフォーラム

と き：令和4年1月13日(木)

形 式：オンライン開催

内 容：基調講演 「再エネ価値取引ビジネスを取り巻く最新動向」

経済産業省 資源エネルギー庁

電力・ガス事業部 電力基盤整備課長 小川 要氏

事例紹介①「水上太陽光発電に関する取組み」

三井住友建設(株) 事業開発推進本部 C S V推進部部长 武富 幸郎氏

事例紹介②「ジャパン マリンユナイテッドの浮体式洋上風力発電への取組み」

ジャパン マリンユナイテッド(株) 商船・海洋・エンジニアリング事業本部

海洋・エンジニアリング事業本部 海洋エンジニアリングプロジェクト部

主幹 北小路 結花氏

参加者：452名

⑤第27回 意見交換会

と き：令和4年1月20日(木)

形式：オンライン開催

テーマ：「日立グループの環境への取り組み」

参加者：74名

⑥カーボンニュートラル勉強会

とき：令和3年4月22日(木)、8月3日(火)、10月21日(木)

ところ：TKPガーデンシティ

テーマ：第1回「CNと日本の相性」

第2回「脱炭素、持続可能でレジリエントな社会をどうつくるか」

第3回「東邦ガスグループ2050年CNへの挑戦」

参加者：200名

⑦EPOC視察

とき：令和3年11月11日(木)

視察先：理化学研究所（大型放射光施設 SPring-8・SACLA）、川崎重工業㈱（水素CGS
活用スマートコミュニティ実証地・液化水素荷役実証ターミナル）

内容：「水素社会に向けた社会実装の取り組みと先端研究施設見学」

参加者：20名

⑧分科会活動

2030年ビジョンの考え方を基に、環境経営分科会、低炭素分科会、資源循環分科会、自然共生分科会、地域共生チーム、次世代交流チーム、海外チームにより、セミナー・研究会・オンライン視察等を実施。

〈環境パートナーシップ・CLUBの役員と会員数〉

会長 寺師 茂樹（トヨタ自動車㈱ Executive Fellow）

副会長 小池 利和（ブラザー工業㈱ 代表取締役会長）

副会長 篠原 幸弘（㈱デンソー 代表取締役副社長）

副会長 小林 茂（日本ガイシ㈱ 代表取締役社長）

副会長 増田 信之（東邦ガス㈱ 代表取締役社長）

副会長 片山 明彦（中部電力㈱ 専務執行役員）

副会長 小菅 俊一（東海旅客鉄道㈱ 代表取締役副社長）

総合事務局長 小坂 信之（(一社)中部産業連盟 専務理事）

副総合事務局長 近藤 元（(一社)中部産業連盟 社会貢献部部長）

ほか理事11名 監事2名 顧問10名

年間予算規模 約49,000千円、会員数255社(者) (2022年3月末日現在)

2) SAM日本チャプター名古屋支部

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
コロナ禍と大学生	令和3年 4月20日	中京大学総合政策学部・ 大学院経済学研究科 教授 弘中 史子氏	20名 (内Zoom7名)
令和の時代の組織づくり	5月18日	㈱マザーリーフ 代表取締役 さくら社会保険労務士法人 代表社員 榊原 陽子氏	17名 (内Zoom7名)
日本企業の海外展開活動支援とジェトロ 名古屋の活動	6月15日	(独)日本貿易振興機構 (ジェトロ) 地域統括センター長 (中部) 名古屋貿易情報センター 所長 増田 智子氏	10名 (内Zoom3名)
トライボロジーのはなし	7月20日	名古屋産業科学研究所 上席研究員 三矢 保永氏	17名 (内Zoom5名)
盛田昭夫塾 見学会	8月23日	—	24名
カーボンニュートラルの実現に向けた愛 知県の取組	9月21日	愛知県 環境局 地球温暖化対策課 課長 平野 淳一氏	25名 (内Zoom9名)
相続と財産管理に関する法律の動き	10月19日	弁護士・さくら総合法律事務所 代表 竹内 裕詞氏	18名 (内Zoom4名)
地熱探査について	11月16日	中部電力㈱再生可能エネルギーカンパニー プロジェクト推進部 バイオマス・地熱 グループ専門部長 長崎 康彦氏	15名 (内Zoom4名)
澁澤栄一と盛田昭夫	12月21日	㈱ワンダーワークス 代表取締役 田村 慎吾氏	23名 (内Zoom3名)
季節・気候・気象を活かした健康生活の あり方	令和4年 1月18日	㈱ライフビジネスウェザー 代表取締役 石川 勝敏氏	16名 (内Zoom6名)
これからの科学的管理法 ～マーケティングとマネジメントの視点から～	2月15日	マーケティングアイズ㈱ 代表取締役 理央 周氏	17名 (内Zoom6名)
徳川慶喜家とその後の暮らし	3月15日	バーナード・プランニング 代表 山岸 美喜氏	18名 (内Zoom3名)

3) 日本広報学会中部部会

中部広報塾

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により年1回の開催を自粛

4) 日本設備管理学会本部、東海支部

①学会本部

・令和3年度社員総会

と き：令和3年6月30日(水)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室

議 案：2020年度事業報告、収支決算報告の承認の件他

参加者：19名

- ・令和3年度春季研究発表大会
と き：令和3年6月14日(月)
ところ：青山学院大学相模原キャンパス（オンライン開催）
テーマ：「データ活用による持続可能な設備管理」
参加者：66名
- ・令和3年度秋季研究発表大会
と き：令和3年11月12日(金)
ところ：名古屋工業大学御器所キャンパス（オンライン開催）
テーマ：「設備管理・保全の高度化と効率化」
～管理保全におけるD Xの活用～
参加者：47名
- ・先端技術講演会
と き：令和3年10月29日(金)、12月10日(金)、令和4年2月4日(金)
ところ：オンライン開催
テーマ：第1回「画像センシング技術を活用したインフラ保全の効率化」
第2回「カーボンニュートラルにおける製造業の機会と課題」
第3回「センシングツールが変える機械加工の未来」
参加者：149名
- ・オンライン工場見学会
と き：令和3年11月19日(金)
ところ：(株)デンソー高棚製作所（オンライン リアルタイム工場見学）
テーマ：「デンソーの自動化・I o T化への取組み」
参加者：103名

②東海支部

- ・令和3年度支部総会
と き：令和3年6月22日(火)
ところ：(一社)中部産業連盟内会議室（リモート開催）
議 案：令和2年度東海支部事業報告、収支決算報告の承認の件他
参加者：66名
- ・令和3年度 設備保全シンポジウム
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し中止
- ・令和3年度 保全技能講座
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し中止
- ・令和3年度 学生研究発表会
と き：令和4年2月22日(火)（発表会・表彰式）
ところ：愛知工業大学自由ヶ丘キャンパス（リモート開催）
内 容：発表件数 5件（愛知工業大学、三重大学、名城大学）

特別講演「サービス・製品設計の必要性和設計法の開発」

・令和3年度 工場見学会

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し中止

Ⅱ. 業 務 報 告

1. 会 勢

令和4年3月末日現在の会員数は711社（入会13社、退会17社）

2. 会 議

(1) 総 会

令和3年度定時総会

- ・日 時：令和3年6月10日(木)
- ・会 場：名古屋東急ホテル 3階「バロックの間」
- ・出席者：480会員（書面表決権行使による出席も含む）

1) 報告事項

- ①令和2年度事業報告の件
- ②令和2年度公益目的支出計画実施報告の件
- ③令和3年度事業計画及び収支予算の件

2) 議 案

次の議案を承認

- 第1号議案 令和2年度計算書類（附属明細書含）承認の件
- 第2号議案 令和3年度評議員選任（交替）の件

3) 報告事項

- ①審議役委嘱の件

(2) 理事会・審議会

第299回理事会

（第28回審議会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止）

- ・日 時：令和3年5月21日(金)
- ・会 場：中産連ビル本館4階 4A会議室およびリモート開催
（Microsoft TeamsによるWeb会議形式）
- ・出席者：理事15名（うちリモート出席11名）、
理事（代理出席）1名（うちリモート出席1名）、
監事1名

1) 議 案

次の議案を承認

- 第1号議案 令和2年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告の承認の件
- 第2号議案 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項の件
- 第3号議案 令和3年度審議役選任（交替）の件
- 第4号議案 令和2年度下期新規入会会員の承認を求める件

2) 報告事項

- ①会長、副会長、専務理事の職務執行に関する状況報告について
- ②叙勲及び褒章について
- ③訃報について

第300回理事会

(第29回審議会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止)

- ・日 時：令和3年11月18日(木)
- ・会 場：中産連ビル本館4階 4A会議室およびリモート開催
(Microsoft TeamsによるWeb会議形式)
- ・出席者：理事13名(うちリモート出席9名)、
理事(代理出席)1名(うちリモート出席1名)、
監事1名

1) 議 案

次の議案を承認

第1号議案 令和3年度上期新規入会会員の承認を求める件

2) 報告事項

- ①令和3年度上期実施事業ならびに収支実績報告の件
- ②褒章について
- ③訃報について

第301回理事会

(第30回審議会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止)

- ・日 時：令和4年3月22日(火)
- ・会 場：中産連ビル本館4階 4A会議室およびリモート開催
(Microsoft TeamsによるWeb会議形式)
- ・出席者：理事15名(うちリモート出席11名)、
監事1名

1) 議 案

次の議案を承認

第1号議案 令和4年度事業計画および収支予算案の件

2) 報告事項

- ①第13回評議員会開催の件
- ②訃報について

(3) 評議員会

第13回評議員会は、令和4年2月開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から収録形式で実施。中産連の概要および令和4年度の事業概要、主要事業、新事業について説明した動画を、評議員の皆様へ令和4年3月28日(月)から4月28日(木)の間で配信。

3. 庶務

(1) 内閣府への申請

令和3年6月18日付、内閣府へ申請（公益目的支出計画実施報告書等の提出）、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項により公益目的支出計画実施報告書等を提出。

(2) 登記事項

令和3年度の登記事項はなし。

(3) 職員の状況

令和4年3月末日現在の正職員は男性74名、女性29名の合計103名である。

4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・経営企画士会（(公社)全日本能率連盟登録）
- ・日本設備管理学会 本部、東海支部
- ・SAM日本チャプター名古屋支部
- ・日本広報学会 中部部会
- ・環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）
- ・日本経営管理標準（JMS）推進機構
- ・あいちゼロカーボン推進協議会

(2) 関連法人

- ・中産連ビルディング㈱
- ・㈱リーム中産連

(3) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている法人（公益社団法人、一般社団法人、一般財団法人）で組織している専門団体連絡協議会（略称・専団連）のうち、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。

5. 役・職員の対外的協力活動

小坂 信之

(公社)全日本能率連盟 理事・副会長

経済産業省関係公益法人企業年金基金理事・代議員

(一社)科学技術と経済の会運営委員会委員

JMS推進機構専務理事

環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）総合事務局長

愛知環境賞選考委員会委員

あいち地域循環圏形成プラン推進会議委員

なごや環境大学実行委員会委員
あいちゼロカーボン推進協議会理事

梶川 達也

(一社)全国エネルギー管理士連盟 監事
中部大学 非常勤講師
(一財)品質保証機構 GAP 認証委員会 委員
(一財)省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員

柘植 吉則

椋山女学園大学 非常勤講師

良雄 信也

専門団体連絡協議会委員

山崎 康夫

東京造形大学 非常勤講師

6. 会員支援

(総務本部 広報部)

1) プログレス (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行 (別表①参照)

新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的内容で高い評価を得ており、毎号、テーマを絞った特集方式で編集することで、会員企業の関心の高いテーマを特集として企画、また、識者によるコラムのコーナーを設置

2) 会員懇話会 (会員向け無料講演会) (別表②参照)

毎回、タイムリーで話題性の高いテーマを取り上げ実施

3) 経営・法務相談室 (無料)

経営全般に関する無料相談と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室には、これまでそれぞれの時代を反映した相談等が寄せられており、今期も経営課題・問題解決の窓口を開設

4) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介のほか、新着情報コーナーなどで、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業ホームページへのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせ等に対応。また、会員企業向けに機関誌『プログレス』バックナンバーのダウンロードサービス、新型コロナウイルス感染症対策として会員懇話会のビデオ・オン・デマンドのサービスを提供

5) 中産連案内パンフレットの修正増刷

別表① 令和3年度上期プロブレクス主要記事

月号	表紙	紙	潮流	特集テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他
4月号	C&D(株) 「2021愛知環境賞 『金賞』を受賞」	紙 「(リ)ニア・軌道館」 が開館10周年	シエール(株) 代表取締役 牧野 健氏 「創業百二十周年を迎え、 未来に貢献する企業を 目指す」	①令和3年度中産連事業活動方針と主要事業計画 (一社)中部産業連盟 専務理事 小坂 信之 ②これからのリーダーたる在り方と行動原則 (一社)日本NLP能力開発協会 エグゼクティブ・トレーナー 中島 克紀氏	第602回 「明け合いの精神が組織を強くする ～コロナ禍におけるリーダーシップ～」 マネジメンツケアリスト 浅井 浩一氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第77回》株ひびびよん；ユーザーの要望を最優先し、 シート加工で新たな需要を生み出す ChuSanRen Topics 顧客創造のための組織変革ストーリー 野村 佳伸 主任コンサルタント 清水 弘之 (一社)中部産業連盟 主任コンサルタント コラム「大道無門」 期待と不安～バイデン勝利の背景～ 「バイデン政権への期待と不安～バイデン勝利の背景～」 南山大学 国際教養学部 教授 山岸 敬和氏	
5月号	東海旅客鉄道(株) 「(リ)ニア・軌道館」 が開館10周年	紙 「(リ)ニア・軌道館」 が開館10周年	㈱興和工業所 代表取締役社長 六車 壽夫氏 「先人たちの技術を継承 し、循環型経済の構築を 目指す」	①ものづくり女性リーダーを育てる 神奈川大学 経営学部 国際経営学科 教授 典子氏 ②SNSのリスクと活用 ～データが示す実態とリスクの予防・対処策～ 国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター 准教授 山口 真一氏	第603回 「ポスト・コロナ、時代に活かす『歴 史失敗学』」 作家・政治史研究家 瀧澤 中氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第78回》旬がんご本舗：環境保護を出発点として画 期的な洗剤を世に問う ChuSanRen Topics プライバシーマーク制度のご案内 松本 月 (一社)中部産業連盟 審査業務部 部長 コラム「大道無門」 期待と不安～バイデン政権の国内政策～ 「バイデン政権への期待と不安～バイデン政権の国内政策～」 南山大学 国際教養学部 教授 山岸 敬和氏	
6月号	矢作建設工業(株) 「『花の王国あいち サポート企業』に認 定」	紙 「『花の王国あいち サポート企業』に認 定」	大豊工業(株) 代表取締役社長 杉原 功氏 「お各様の信頼を糧にし て」	①中小・中堅企業におけるHRテクノロジーの導入 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 特任教授 岩本 隆氏 ②変化対応力を高める目で見える管理の重要性 (一社)中部産業連盟 執行理事 東京事業部副事業部長 主席コンサルタント 佐藤 直樹	第604回 「アマノのイノベーションを支える仕 組みづくり ～人材育成とその活用～」 エバングローイイングパートナーズ(株) 代表取締役 佐藤 将之氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第79回》㈱ライオン精工：営業・技術の両面から改革 を進めて社依存から脱却 《第80回》㈱たかふね工業：新たに医療分野へ挑戦、 「強く」必要とされる会社をめざす ChuSanRen Topics カーボンニュートラルへのアプローチ 梶川 達也 (一社)中部産業連盟 執行理事 主席コンサルタント コラム「大道無門」 期待と不安～バイデン政権の対外政策～ 「バイデン政権への期待と不安～バイデン政権の対外政策～」 南山大学 国際教養学部 教授 山岸 敬和氏	
7月号	愛知製鋼(株) 『重直緑化エコニフット レスト®』が『Best Development Award』 を受賞」	紙 「『重直緑化エコニフット レスト®』が『Best Development Award』 を受賞」	長屋印刷(株) 代表取締役社長 中川 剛氏 「チャレンジ、失敗、ま たチャレンジ」	①「危機」を乗り越え、再び輝かなる成長軌道へ ～2021年版中小企業白書より～ 事業環境部 調査室 経済産業省 中小企業庁 瀧澤 宏也氏 ②令和3年度中産連定時総会	第605回 「いま、 取り組むべきカーボンニュート ラルの現状と課題」 (一社)コンソーシアション・インター ナショナル・ジャパン 代表理事 日比 保史氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第81回》㈱トヨタテック：光学センサー一部品で高い競 争力、よりニッチな、よりグローバルへ ChuSanRen Topics 中小・中堅企業における新事業開発支援 コンサルティング営業企画部 小久保 宏樹 コラム「大道無門」 期待と不安～バイデン政権の国内政策～ 「和太鼓の伝統と技術を継承し、新たな可能性に挑戦し続ける(第7回)」 大治太鼓「尾張一座」 打頭 若山 和氏	
8月号	㈱アイセロ 「マレニシア子会社 にて新工場が稼働開 始」	紙 「マレニシア子会社 にて新工場が稼働開 始」	中西電機工業(株) 代表取締役社長 中西 政男氏 「無駄を減らす、自動制 御屋の六十年」	①物流標準化による「担い手にやさしい物流」を目 指して 敬愛大学 経済学部 教授 根本 敏則氏 ②国際イニシアチブから見る脱炭素化への対応につ いて (一社)中部産業連盟 マネジメント事業部 ISO研修部 勝 順哉	第606回 「いま、 取り組むべきカーボンニュート ラルの現状と課題」 (一社)コンソーシアション・インター ナショナル・ジャパン 代表理事 日比 保史氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第82回》トマト工業：ニッチ分野の不燃材に多彩な加工を施し成長 ChuSanRen Topics 自社のコスト構造を変えるための現場改善 (一社)中部産業連盟 主席主任コンサルタント 山口 柳隆 コラム「大道無門」 期待と不安～バイデン政権の国内政策～ 「和太鼓の伝統と技術を継承し、新たな可能性に挑戦し続ける(第7回)」 大治太鼓「尾張一座」 打頭 若山 和氏	
9月号	井村屋グループ(株) 「和菓子舗 井村屋」・酒蔵『福 和蔵』を開業」	紙 「和菓子舗 井村屋」・酒蔵『福 和蔵』を開業」	㈱中部経済新聞社 代表取締役社長 恒成 秀洋氏 「創刊七十五周年 からちも中部産業界の応援 団で」	①70歳就業時代のシニア人材活用戦略 敬愛大学 教育学部 教授 内田 賢氏 ②経営における知財戦略とは ～21世紀における新事業創出のための視点～ 事業構想大学院大学 特任教授 はがみのもりチヤイン CEO 早川 典重氏 ③不確実な時代における経営者のコミュニケーション戦略 (一社)中部産業連盟 コンサルティング事業部 主席コンサルタント 橋本 豊	ChuSanRen Topics 令和3年度 中小企業・小規模事業者人材対策事業 補助金(中)プライヤー応援隊事業) コラム「大道無門」 期待と不安～バイデン政権の国内政策～ 「和太鼓の伝統と技術を継承し、新たな可能性に挑戦し続ける(第7回)」 大治太鼓「尾張一座」 打頭 若山 和氏		

別表① 令和3年度下期プロブレシ主要記事

月号	表紙	潮流	特集テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他
10月号	モリリン㈱ 「IMZCA PROJECT」 「コロボレーション」 プロジェクトが始動	名港海運㈱ 代表取締役社長 高橋 広氏 「中部の産業の発展と快 適な国民生活のために」	①中小・中堅企業のグローバル・サービス戦略 明治大学 政治経済学部 教授 奥山 雅之氏 ②組織として取り組むカスタマーハラスメントへの 対応策 ㈱エンゴシシステム 代表取締役 櫻川 聡氏	①中小・中堅企業のグローバル・サービス戦略 明治大学 政治経済学部 教授 奥山 雅之氏 ②組織として取り組むカスタマーハラスメントへの 対応策 ㈱エンゴシシステム 代表取締役 櫻川 聡氏	第606回 「中国経済の現状と今後のゆくえ ～第2回『中国の夢』実現に向けて～」 愛知大学 現代中国学部 准教授・国際ビジネスセンター長 阿部 宏忠氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第83回》オーエムヒーター㈱：シリコンラバーヒー Chusanren Topics 人材マネジメントのためのデータ活用 主任コンサルタント 柘植 吉則 コラム「大道無門」 「災害対策～いざというときの備え～」 ラジオDJ：防災士 行天 貴之氏
11月号	ホンダロジコム㈱ 「香風溪の谷」 「リニューアールオー ブン」	㈱丸松坂屋百貨店 代表取締役社長 澤田 太郎氏 「生活と文化を結ぶマツ ザカヤ」	①スマート工場の実現に向けて 神戸大学大学院 工学研究科 教授 白瀬 敏一氏 ②中小企業を強くする「ブランドづくり」の発想 静岡県立大学 経営情報学部 教授 岩崎 邦彦氏	①スマート工場の実現に向けて 神戸大学大学院 工学研究科 教授 白瀬 敏一氏 ②中小企業を強くする「ブランドづくり」の発想 静岡県立大学 経営情報学部 教授 岩崎 邦彦氏		企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第84回》フジクリン工業㈱：時代の要請に応じ、 水をきれいにする技術へ挑戦し続ける Chusanren Topics SDGs 経営の導入 主任コンサルタント マネジメント事業部 コラム「大道無門」 「災害対策～いざというときの備え②～」 ラジオDJ：防災士 行天 貴之氏
12月号	㈱ノリタケカンパニ リミテッドの森 開 園20周年 ノリタケスクエア名 古屋もリニューアル	明治電機工業㈱ 代表取締役社長 杉脇 弘基氏 「二〇三〇年にむけて」	2022年景況予測と企業動向調査 ～中産連役員48氏の予測～（中産連役員アンケート ト集計結果より） ㈱中産連 専務理事 小坂 信之 吉則 主任コンサルタント 柘植 吉則	第607回 「“幸せな職場”が日本を元気にする ～働きたくてたまらないチームの作り方～」 慶應義塾大学大学院 経営学研究所 シニアデサイナ：マネジメント研究科 教授 前野 隆司氏	「大道無門」といふときの備え③～ 「災害対策～いざというときの備え③～」 ラジオDJ：防災士 行天 貴之氏 中産連令和3年度上旬事業および収支実績報告 Chusanren Topics I SMS構築による情報セキュリティの継続的改善 主任コンサルタント 青山 誠	
1月号	㈱タマダイク 「建業家・坂 茂氏 設計の新社屋『タマ ダイク』名古屋ビル」 完工	中産連会長年頭のご挨拶 （一社）中産連 功一 会長 伊奈 功一 経済産業大臣年頭所感 経済産業大臣 萩生田 光一氏	①東海地区における2022年の景況予測と今後の展望 日本銀行 名古屋支店長 林 新一郎氏 ②2022年世界経済とカーボンニュートラル ～わが国が進むべき道～ 国際大学 副学長 大学院 国際経営学研究所 教授 樋川 武郎氏	第608回 「メディアと流言 ～あいま情報のリテラシー～」 京都大学大学院 教育学研究科 教授 佐藤 卓己氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第85回》フジクリン工業㈱：時代の要請に応じ、 水をきれいにする技術へ挑戦し続ける コラム「大道無門」 「季節を感じ、心を豊かに～第1回 人生を豊かに彩 る『行事着』の愉しみ」 和文文化研究家 三浦 康子氏	
2月号	ヤマハ㈱ 「サウジアラビア王 国初の公認音楽教育 施設『ヤマハ音楽教 室リヤド校』を開校	清水建設㈱ 常務執行役員 名古屋支店長 新村 達也氏	①アワーク・エンゲイジメント ～健康増進と生産性向上の両立 慶應義塾大学 総合政策学部 教授 島津 明人氏 ②戦略的事業継承の構想 ～「点」から「プロセス」の事業継承へ～ 静岡県立大学 経営情報学部 教授 落合 康裕氏	第609回 「先端技術の流出防止に向けて官民で連携を ～経済安全保障の最前線～」 法務省 公安調査庁 中部公安調査局 調査第二部長 近 智徳氏	Chusanren Topics I A T F 16949認証取得によるグローバルサプライ チェーンへの参入 中産連 今野 翼 コラム「大道無門」 「季節を感じ、心を豊かに～第2回 『二十四節気』 の勘違いと活用術」 和文文化研究家 三浦 康子氏	
3月号	トヨタ紡織㈱ 「刈谷グローバル 社が『愛知まちなみ 建築賞』を受賞 『中部建築賞』に入 選」	伊藤機工㈱ 代表取締役会長 伊藤 千衛氏	イノベーションの新規性とリスク・シェア 早稲田大学 商学学部 教授 清水 洋氏	第610回 「日本“式”経営の逆襲 ～逆輸入される日本の経営～」 慶應義塾大学 商学部 准教授 岩尾 俊兵氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第86回》ヤマキ電器㈱：硝子一本から脱して他分野 を拡大、次なる100年に挑戦する効率的な仕組み づくりと新分野・海外市場への挑戦が突破口を開く ～1年間の取材を振り返って～ 人材育成フェスティバル抄録 「世界の経営学からみた、人材育成の秘訣」 早稲田大学大学院 経営管理研究科（早稲田大学ビジネススクール） 教授 入山 章栄氏 コラム「大道無門」 「季節を感じ、心を豊かに～最終回 秘が教えてく れる文化のおもしろさ～」 和文文化研究家 三浦 康子氏	

別表② 会員懇話会

テ ー マ	配信日	講 師	視聴回数
“ポスト・コロナ”時代に活かす 『歴史失敗学』	第603回 令和3年 4月19～ 25日	作家・政治史研究家 瀧澤 中氏	41会員 120回
アマゾンのイノベーションを支える仕組み づくり ー人財育成とその活用ー	第604回 6月7～ 13日	エバーグローイングパートナーズ㈱ 代表取締役 佐藤 将之氏	49会員 189回
いま、取り組むべき カーボンニュートラルの現状と課題	第605回 7月12～ 18日	(一社)コンサベーション・インターナシ ョナル・ジャパン 代表理事 日比 保史氏	52会員 202回
中国経済の現状と今後のゆくえ ～第2の「中国の夢」実現に向けて～	第606回 9月21～ 28日	愛知大学 現代中国学部 准教授・国際ビジネスセンター長 阿部 宏忠氏	45会員 115回
“幸せな職場”が日本を元気にする ～働きたくてたまらないチームの作り方～	第607回 11月8～ 14日	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 前野 隆司氏	45会員 246回
メディアと流言 ～あいまい情報のリテラシー～	第608回 11月29～ 12月5日	京都大学大学院 教育学研究科 教授 佐藤 卓己氏	29会員 204回
先端技術の流出防止に向けて官民で連携を ～経済安全保障の最前線～	第609回 12月20～ 26日	法務省 公安調査庁 中部公安調査局 調査第二部長 近 智徳氏	20会員 54回
日本“式”経営の逆襲 ～逆輸入される日本の経営～	第610回 令和4年 2月7～ 14日	慶應義塾大学 商学部 准教授 岩尾 俊兵氏	45会員 156回
日本企業の競争力としての現場力 ～現場力こそ競争力とイノベーションの源泉～	第611回 3月14～ 20日	㈱シナ・コーポレーション 代表取締役 遠藤 功氏	45会員 169回